

- 日 時 令和3年11月2日(火) 15:40~16:55
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局(校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長、
特別活動部長、保健部長)
- 内 容
- 1 校長挨拶
 - 2 委員紹介及び会長・副会長選出
 - 3 会長挨拶
 - 4 学校報告
 - ア) 学校運営協議会への意見書の提出
令和3年6月23日より令和3年11月1日まで なし
 - イ) 修学旅行について(第2学年)
 - ウ) 教務部 令和4年度使用教科書採択報告
 - エ) 進路指導部 1年生スタディサポート結果
 - オ) 生徒指導部 生徒指導状況報告
 - カ) 特別活動部 活動報告
 - キ) 保健部 検診、行事予定
 - 5 質疑応答・意見交換
 - 6 校長謝辞
 - 7 諸連絡

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

***行事について**

○去年はできなかった行事が今年はできていて一安心。行先が変わっても修学旅行にいけてよかった。

○修学旅行のコロナ感染対策はどのようにしているか。

⇒宿泊数を短くする。民泊をやめ、ホテル泊にする。一部屋の人数を減らす。迎えにきてもらいやすいように近くにする。(島なら迎えにくるのが難しいので、行先を変更した。)密にならないようにコース変更。健康観察カードの記入。それまでの生活で感染リスクの高いことはしない。37.5度を超えている場合は帰宅させる。体温計を持参し、ホテル・施設に入館する際、起床時、食事前等こまめに体温測定をする。コロナ対応できる看護師の配備。食事はガイドラインにそって一方向を向いて行う、等の対策を行う。

***校内について**

○授業見学时、アルコール消毒をテープで固定しているのはなぜか。見た目が悪い。予算はあるのでは。チェーン等がかごとつながりなどしてはどうか。気持ちよく感染対策ができればよい。

⇒紛失防止のため。どこかにいってしまう。保健委員にアイデアを出してもらおうといいかもしれない。

*教科書選定理由について

○教科書にQRコードがついていて、説明が聞けるが、どのように使うのか。

⇒学校でタブレットで使う。家でもスマホで聞くことができる。

○教科書選定の苦労は。

⇒デジタルコンテンツなど、力を入れているポイントがかわっている。どこに重点を置くか考える。

*観点別評価について

○観点別評価の現状はどうなっているか。

⇒数学科で試行を行った。別解をみつける、調べてできる等の試行錯誤を観点に落とし込み、今までの評価との違いを職員会議で発表した。今後、各教科で三観点をどのように評価できるのか、評価につながるポイントを明示する。

*地域連携について

○公民館活動ができなくなっている。昨年11月14日(日)に作品展示会を実施した。高校の廊下に置いている作品を出してくれないかと聞いたら快諾してくれた。この活動をどんどん広げていくことが大事であり、感謝の気持ちを持っている。

⇒本校美術部にとっても、作品を作り、展示することにより、活動を知ってもらいたい機会となる。学校としても参加できるものは参加していきたい。

○部活動が地域へ移管、どうなっていくのか。

⇒部活動の今後の在り方を考える必要がある。部活動指導をしたいため教員になる人もいる。

*進路指導について

○共通テストの変更についてどのように対策をしているか。英語は大きく変わっているが、私立大学は知識・文法問題も多く出題されている。英語の力を多面的に測れるように、小中学校ならS-P表(学校/学級別解答状況整理表)をみればわかりやすい。模擬試験もS-P表をいえばデータをもらえるのかもしれないので活用するとよい。マークシートならすぐにでる。

⇒英語科の教員と頭を悩ませている。生徒が自分の力がついていっているのかわかりにくい。学校独自の実力テストを作っていく等、模擬試験の位置付けを考えていく。または予備校の力を借りて英語科と相談して進めていく。

*保健部について

○ワクチン接種の把握はどうしているか。

⇒調査はしていないが、副反応で保健室に来る子が多い。記録しているわけではないので、誰が受けているかという把握はしていない。把握しようと思えばできるが、していない。半数くらいは接種しているという感触。大阪府教育委員会は任意であることを強調している。

*生徒指導について

○いじめ加害被害で共通理解が得られない。共通認識が難しい。教員が間に入るようにする。参考までに。

○コロナによっていじめは減ったけど、全国的に不登校が増えた。千里青雲高校はどうか。

⇒いじめについては、一緒が増えている気がする。いじめは本人自身がそう感じるかどうか。本人がいやと思えばいじめで、ほぼすべてがいじめになる。いじめと認知するが、指導には差がある。

事後の指導ではなく、事前に認知し、指導していくようにしている。

不登校はすこし多くはなっているが、劇的に増えているわけではない。理由として多いのは、分からない、とにかくしんどい、集団生活になじめない、勉強についていけない等。

○不登校ではないが、塾にいつて進学を目ざしたり、タブレットなら家でできると家で勉強する生徒がいる。文科省はオンライン授業等で出席扱いにというが、どんな工夫をしているか

⇒コロナ不安の生徒に対し、今は出席停止として扱っている。オンライン等で授業をすればやったことにみなすという通知があるが、コロナ不安で休むという生徒は今のところいないので、実施していない。

○遅刻の検証の先生方の反応はどうか。

⇒ベテランの教員は感覚的に知っている 若い教員にも知ってもらいたいと思って伝えている。